

2008年度第一回

日本学生オリエンテーリング連盟幹事会

5/31 書記 沢厚太郎

議案書

1. 自己紹介
2. 大阪外国語大学の加盟登録
3. 加盟に関する規則第7条の改正
4. 日本学連事務局への関東学連事務局再転入と家賃の分配
5. 学連広報誌「いぶき」
6. 奈良インカレトレイン「大和高原つげ」の渉外と地図管理
7. 賛助会員勧誘計画
8. 日興渉外マニュアル作成経過報告
9. 活動報告書作成経過報告
10. 学生のインカレ運営協力（愛知ロング）
11. 中九四学連にかかわる規約、規則の改正
12. 理事会報告
13. テレインコントロールワーキンググループ（TCG）報告
14. 技術委員会報告
15. 諮問委員会報告
16. 各部局活動報告
17. 地区学連活動報告
18. その他
19. インカレと全日本大会の共催
20. 後援申請
21. 次回幹事会日程

参加者

小林知彦（幹事長）
岩崎慶士（事務局長）
北村佳代子（会計）
長峯大樹（事業部長）
青山由希奈（会計監査）
小宮山齊彰（副幹事）
沢厚太朗（広報部長）
河上重範（北信越）
藤島陽平（北東）
堀文音（関西）
藤森祐耶（東海）
古谷嵩（関東代理）
佐藤俊（webサイト管理人）

山川克則（副会長）
堺信夫（理事）
土方隆（理事）
広江淳良（理事）
太田恒平（諮問委員）

1. 自己紹介

省略

2. 大阪外国語大学の加盟登録 3. 加盟に関する規則第7条の改正

学生本人の意思もあり、大阪大学として登録する方向で加盟登録の作業を進行中

過去にも似たような事例があり、本人の意思を尊重して対処をしたが、規則の方を書き換え忘れていた。規則の改正自体はその年の総会で承認されている。そのため、それに従い、今回は規則も書きかえる。このことは学連総会で報告する予定。

4. 日本学連事務局への関東学連事務局再転入と家賃の分配

08年の分（6万円）と、いままでの関東学連滞納分（13万円）は、関東学連からすでに振り込まれた。

5. 学連広報誌「いぶき」

新幹事の紹介、春インカレの共催などを中心に、6月中に第1号を出す予定。
年5回は発行したい。

・学連に興味を持っていない学生が多い。そういった学生に対して、とっかかりになるような内容を。

→具体的な内容としては、地区学連セレクション情報（コメントつき）インカレ入賞者インタビュー、順位速報、各大学のトレーニングメニュー、インカレ優勝者、優勝校特集

提案

- ・渉外に、部内MLにまわしてもらい、いぶきの知名度アップ
- ・学連のHPやO-n e w s など、もっとさまざまなメディアと協力して、情報を配信してもいいのではないか。
- ・いろいろな人がインタビューをとり、いろいろな人が記事を書いたほうが面白い

6. 奈良インカレトレイン「大和高原つげ」の渉外と地図管理

問題

- ・関西学連のものだった旧吐山の地図のあつかいをどうするか。奈良インカレでクローズされたので、大阪OLCが在庫を抱え込んでしまっている。保障をどうするか。
- ・新しい地図は、オンデマンド方式にするか、オフセット方式にするか。
- ・新しい地図の利益配分はどうするか

対応

- ・関西セレは間近。とりあえず今回はオンデマンドでないと間に合わない。よって、セレはオンデマンドで、その後は関西学連に持ち帰って考える。日本学連はそれに沿って動く。
- ・日本学連の地図ではあるが、関西しか使わないようなトレインなので、関西学連に委託するという形で。
- ・契約の問題は理事会が処理

7. 賛助会員勧誘計画

前回からの動きはあまりなし。今週中に、Webへの広報等動きだす。

担当は小林から、河上へ引き継ぎ

- ・インターネットの可能性
 - ・メールでの受け付けも行う。窓口をひろげ、登録しやすくする方向で。
 - ・ネットバンクだと、法に引っかかるのか？
 - ・スポーツエントリーを使う？

- ・各大学のWEBにリンクを張ってもらう
- 忙しい人にも門戸を広げて
- ・複数年登録の可能性
 - ・集めたお金の用途の報告が必要ではないか
 - Webで広告（寄付を払った人に対して報告）ありがたいを伝える。
 - ・インカレオフィシャル規定を排除したが、寄付は減ってはいない。

8. 日興渉外マニュアル作成経過報告

動きはない。ML上で処理

9. 活動報告書作成経過報告

今年度に発行の予定だが、まだ完成していない。もうすぐできる。

→完成したら各加盟校に2部ずつ送る

- ・結構規則は変割ったのに、紙に反映されていない規約を見つけたら、そのときは連絡を

10. 学生のインカレ運営協力（愛知ロング）

最近のインカレは運営者減に悩む。

会場かたづけとか、手伝えることは積極的に手伝っていきたい。東海、関西を中心に。

具体的に何をするかは、実行委員・松澤からの返信待ち

（昨年、一昨年の例…宿泊輸送、プログラム、報告書、閉会式、開会式）

- ・式典プログラムの言葉づかいを直したい、堺理事に確認。
- ・インカレ報告書は必要か、Webに挙げればいいのか。
 - かつて、必要と決議したので、くつがえしたいのなら決議が必要
- ・奈良インカレの報告書の発行部数をどうするか
 - 規定どおり現状維持（多いほうが参加費はかかる）

11. 中九四学連にかかわる規約、規則の改正

山口大学が現状3、4年生しかおらず、新歓も厳しい状況

→中九四学連がなくなる可能性がある

- ・インカレロング枠の配分などが成り立たなくなり、規約の改正が必要
- ・中九四学連の扱いをどうするか、撤廃？
 - 中九四学連のエリアだけでも残しておいて、加盟校ゼロとしてあつかう。
 - 枠の話は「欠員補充」の規約で、配分する。何年もたってもうだめだとなったときに改正すればいい。
- ・とにかくチャンスが減らすべきでない。学連の空白地帯を作るべきではない。
- ・日本学連の手続き等は関西が代理。
- ・関西から岡山、広島に新歓を手伝いに行けないか
 - 効果は疑問。人のいない大学で部を作るのが難しい。
 - 普段の活動を一緒に出来ないかぎり、継続は不可能
- ・活動自体がほとんどないので、今年すでに危ないかもしれない。
- ・秋吉台の地図の所有→山口県協会に譲渡
- ・いつ動くかの期限を決めるべき
 - 規約改正は加盟者消滅時に…
 - 今年度加盟登録の状況を見て、次回決定。

1 2. 理事会報告

インカレと全日本の件について、集中的に議論。後で

1 4. 技術委員会報告

特になし

近々紙かなにかに起してもらう予定

1 5. 諮問委員会報告

諮問委員会としては、特になし。太田から、提案、質問

①各部局の会計の明細報告をさせるべき。

作ってはいるはず、報告を義務化するよう規則に盛り込むべき。

②地図の○キャドデータの管理はどうなっているのか

管理はジェネシス。日本学連はなにもしていない。

→どこに地図があるのか。日本学連として責任をもって管理すべき。

地図の管理体制を認識し明文化すべき。

管理がバラバラ、「少なくとも地図データが学連の金庫‘には’ある」という状況を作りたい。そういう、たずまいが望ましい。知的データが勝手に出ていく状況はまずい。

事務局長に預けるのは怖い、盗難にあたりしたとき、責任はとれない。

山川「日本学連の所有物、という認識で管理している。手続きがわずらわしくても、事務局を通してでしか、やり取りはしていない。」

岩崎「現状で問題はないと認識している。」

・青山高原の問題に対する山川の応答

オンデマンド化の過渡期に行われたため起こった。オフセットで刷って関西学連が管理、データまで渡してしまったので、流出してしまった。これは例外。一般的なルールと思っ
て話されると困る。使用が把握されていない。信用商売。報告が上がってくれば問題ない
けれど

・話をまとめてからまた細かく詰めていこう

③会計監査の役割

2人もいるのか。そもそも1人でいいのではないか。

→複数チェックでフォローする意味合いから2人だったのでは。

→近くに置いておく身近な監査と、利害がからまず遠くからチェックする監査と
いう意味合い。

・そもそも論として、二人体制が機能していないのがまずいのでは。

・対策としては①コスト削減のために、年度末だけ参加させる②一人体制にする③なにも
しない。のどれかだろう

16. 各部局活動報告

事務局

- ・引き継ぎ
- ・日本学連幹事名簿、渉外名簿の作成
- ・加盟登録

→個人情報を含むので取扱いは注意するよう。

・鶴見大学が加盟校になることを希望している。

・栃木のテレイン管理問題

立ち入りに一〇〇円かかる。不始末が相次いだためのテレイン管理料。

この振込先をどうするのか？栃木県協会？日本学連？ジェネシス？

日本学連に地図代が振り込まれ、年末その利益をジェネシスに渡している。

払い方を変えると面倒なので、同じようにするか

問題は、人数が相手を信用して報告してもらえないこと。管理がいろいろなところにまたがって面倒くさいこと。

*栃木県協会との渉外上の問題

とりあえず、どんな行事が開催されたかだけを把握しておく

事業部

・引き継ぎ

・年間スケジュールにしたがって動いた

・インカレ実行委員・松澤らとの話をはじめている

広報部

・引き継ぎ

・事務局長から名簿を受け取り、u o f j MLの変更を行った

・いぶきは6月中には出したい

会計報告

昨年度決算・今年度予算いったん提出も、再提出を求め、まだ手直し中

17. 地区学連活動報告

別紙で

18. その他

・加盟登録の書類

・ワードの年とかを書き換えてくれ

(いまのMLは30kbくらいまでしか送れない→訂正メールがはじかれてしまった)

20. 後援申請

- ・第三十一回筑波大学オリエンテーリング大会
- ・第三十一回東北大学オリエンテーリング大会

→議決承認

13. テレインコントロールワーキンググループ (TCG) 報告

報告自体は特になし

19. インカレと全日本大会の共催

*2008年度ミドル

今年の全日本大会は神奈川。インカレと全日本と共催しよう、とのもちかけがあった。

- ・木曜モデルイベント開会式 金曜ミドル 土曜リレー 日曜全日本大会の日程が案として挙がる。

背景

- ・地図作成の問題 (何百万もかかる)
- ・人員の問題 (役員の確保)

大きな大会の際の運営者集めは年々厳しくなっている (いくら関東であっても)

→原因のひとつはオフィシャル制度にあるのではないかと

- ・結果として、今までよりインカレを1週間遅らす
- 卒業式は大丈夫か

*メリット

→インカレが確実に開ける

背景

- ・インカレの現状維持での開催が難しくなってきた。
 - 実行委員会が組織できず、開催が危なかった年も
 - ジェネシスとの提携で、コストはかかるがとりあえず継続性を確保できている
- ・地図に対する高い精度の要求
- ・単独開催では値上げせざるをえない。
 - 賛助会員にアピールすれば…

*デメリット

- ・同じ地図で2度開催
- ・公平性に疑問

→テレインの広さ公平性は奈良インカレのレベルでは確保可能

- ・場所の候補は南足柄市
- ・地域クラブとの連携の可能性

- ・インカレに対するモチベーション
→インカレなしではオリエンにのめりこんでいかない

- ・若手運営者は全日本に出られるのか？また、出られなくなることで運営者が集まらなくなりはないか？
→鹿嶋田さんのコースを何度も試走できる方が…現状運営者に不満は少ない。

- ・ここで説明する努力をすることで学連、インカレ運営の現状を伝えることにもつながる。
- ・ここ一カ月で、しっかり説明を行っていこう。

*2009年度ロング

全日本大会を秋に動かし、インカレ&全日本共催との提案が。

→同日開催もありうる

- ・連日なら、ロングの次の日に全日本が走れるか
- ・公平性の問題
- ・同日なら、学生と全日本大会との断絶

21. 次回幹事会日程

またMLで